

令和5年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1491200018	事業の開始年月日	平成22年10月1日
		指定年月日	令和4年10月1日
法人名	(株)保健科学研究所		
事業所名	寒川かえで園		
所在地	(〒 253 -0111 ) 神奈川県高座郡寒川町一之宮9丁目25番47号		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和6年3月30日	評価結果 市町村受理日	令和6年5月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	<a href="https://www.reiwakaigo.co.jp/facility/kaede/">https://www.reiwakaigo.co.jp/facility/kaede/</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様の個性を大事にし生活リハビリを行い、自立した行動を大切に、生活・レクリエーション・外出・買い物、利用者一人一人の希望が叶えられるように支援致します。  
地域の方との交流の場を作り、地域の方と協力が得られ、生活に少しでも、張りが持てるように支援に努めてまいります。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和6年5月8日	評価機関 評価決定日	令和6年5月10日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

#### 【事業所の優れている点】

◇充実した医療体制による利用者の健康管理  
協力医訪問診療(2週間毎)、看護師訪問(毎週)、歯科訪問診療(月1回)、歯科衛生士訪問(毎週)、24時間医療連携体制があり、日常の健康維持体制と緊急時対応を万全にしている。また、毎日の体操や天気の良い日の外気浴、食前の口腔体操、ベランダの花への水やり等をとおして、体調の維持と気分転換に努めている。

#### ◇充実した職員研修

年間計画に基づいて毎月内部研修を行い、職員の知識・実務対応等のレベルアップを図っている。個人情報保護、身体拘束、服薬業務、認知症ケア、感染症対応、虐待防止、リスクマネジメント等について、マニュアルや実務指導を通じて学び、実務に反映するべく努めている。

#### 【事業所が工夫している点】

#### ◇モニタリング結果の介護計画への反映

利用者の日々の「モニタリング情報」を所定の様式に記入し、利用者の介護目標の実践結果と達成状況を毎日判定し、ケアカンファレンスで検討して、介護計画の継続・見直しを決定している。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	寒川かえで園
ユニット名	もみじ

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関や事務所等に掲示をしているが、内容を記憶している職員は少数となっております。地域活動への参加や積極的な挨拶などの取り組みを実践しています。	・「人格の尊重・家庭に近い環境・明るく元気で自立した生活、地域への社会参加」を理念のキーワードとし、事務所内に掲示している。 ・ユニット会議で方針決定時に理念に遡って適否を確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルス感染予防としまして、ゴミ出し等は職員で行っていません。日常的に交流が出来てませんが、地域清掃や地域の衛生員等は参加しております。本年度は東一之宮自治会の東6-3班長として活動をしています。	・自治会に加入している。 ・利用者の散歩や職員のゴミ当番等の機会に地域住民と挨拶を交わすなど、地域交流を続けている。 ・庭の整備にボランティアを受け入れ、苺の収穫等に利用者も参加して日常生活を楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会活動の一環として、立ち話の中での助言にとどまりますが、相談を受けたことがあります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス感染予防としまして、日常的に交流が出来てませんので、なかなか困難かと思えます。運営推進会議外でのお話の中で、面会時の環境について改善を行ったこととはございます。	・地域代表、民生委員、家族、役場職員、地域包括支援センター職員を会議構成員としている。 ・コロナ対応として2か月毎に書面方式で会議を開催していたが、令和6年5月から対面方式にする。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	コロナウイルス感染予防としまして、日常的に交流が出来てませんので、なかなか困難かと思えます。	・行政職員とは、諸手続きに関する助言や行政情報を得るなど緊密に連携している。 ・行政から委託された生活相談員が毎月事業所を訪問し、利用者の生活状況の確認、諸相談に応じている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会で、振り返り行い、身体拘束の研修を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人及び事業所の身体拘束適正化委員会があり、「身体拘束適正化のための指針」(厚労省)」等を行動指針として年4回委員会を開催し、決定事項は職員全員にユニット会議や議事録で周知している。</li> <li>・身体拘束なしの方針をケアに反映すべく常に心掛けている。</li> </ul>	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束適正化検討委員会ならびに高齢者虐待防止研修会で虐待についても振り返り行い、研修を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止マニュアルがあり、内部研修、毎月のユニット会議で何が虐待に相当するかの理解を深めている。</li> <li>・虐待防止自己チェックリスト、理解度チェックを活用し、日常ケアの振り返りを行っている。</li> </ul>	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年間研修を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には読み合わせを行っています。ご家族様の不明点等が御座いましたら、ご納得いくまで説明行っています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナウイルス感染予防としまして、日常的に交流が出来てませんので、なかなか困難かと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は居室での家族面会を可能とし、その際に家族意見や要望を把握している。</li> <li>・利用者の生活の様子を毎月の家族便りで伝えており、その説明等を通じて電話で意見や要望を聞いている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	コロナウイルス感染予防としまして、日常的に交流が出来てませんので、なかなか困難かと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の「管理者会議」、ユニット会議、事業所内部研修、業務用連絡ノート、日常会話を通じて職員意見を把握している。</li> <li>・事業所内環境整備、業務改善に関する意見があり、可能な内容は実行している。</li> </ul>	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	環境改善会議を行い、職場環境の見直しを行っております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の就業規則に基づき、ワークライフバランスに配慮した適切な人事管理に努めている。</li> <li>・職員の資格や職位による給与水準が法人で制定されており、職員各自の向上心を促進している。</li> </ul>	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間研修があり、新人のスタッフの研修時には、出来る限り同一の講師スタッフが付き、トレーニングしております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人、事業所が主催する年間研修計画に職員が参加して、様々な知識習得、実務への反映ができる環境を整備している。</li> <li>・職員は法人の研修に参加し、年4回の人事考課の評価もあり、向上心を持ち自己研鑽をしている。</li> </ul>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	コロナウイルス感染予防としまして、日常的に交流が出来てませんので、なかなか困難かと思えます。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には本人情報の共有、サマリーなどからの本人の要望を読み取れる範囲をショートミーティングで話し合い、入居後には朝の申し送り等で、念入りに申し送りを行い、情報共有をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に要望等を伺い、1ヶ月は困っている事は何か？出来る事は何か？情報を共有し、より良い介護の提供に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	朝の申し送り等で、気づいた点等を情報共有しています。その後当日に現場スタッフと話し合う事もあります。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事、出来ない事だけでなく、やりたい事等を情報共有して、ご本人のペースで生活が出来るように支援しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お小遣い持参時等、最近の様子等を報告し、電話等でご家族様との交流が出来るように支援しています。また、オンラインでの面会も実施しております。 また、		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や電話連絡等を受け入れており、関係が途切れない様に支援を行っております。	・知人や友人の来訪は少ない。面会要望がある場合は家族に可否を事前確認している。 ・電話の取次ぎ、手紙や年賀状受取り時の仲介支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	コロナウイルス感染予防も配慮しつつ、レクリエーションや外出等、利用者同士で関係を築けるよう、スタッフも支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年間の挨拶状などを定期的に郵送しています。退去され、ご連絡ある時は懇切丁寧に対応しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の希望により共用スペース等でくつろがれる際には、感染予防といたしまして、マスクの着用や、換気を行う等に対応しております。	・入居時のアセスメント情報、日常の会話、家族からの情報等で意向を把握している。 ・表出困難な利用者の場合は、表情、仕草、声の調子等から思いを察し、声をかけて意思を確認している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や馴染みの暮らし方を、アセスメントしサービスに反映出来るように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活リハビリの中で、出来る事出来ない事を把握を行い、スタッフがその方に合った支援をすることで、達成感が得る事が出来るように努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	出来る事、出来ない事を情報共有して、ご本人のペースで生活が出来るように支援しています。申し送り等、危険因子等で現状を把握して対応してます。	・ケアカンファレンス(ユニットごと毎月)を開き、医師、看護師、家族の意見、モニタリング結果を参考にして、可能な職員が参加し介護計画の是非を検討し見直している。 ・見直した介護計画について家族の承認を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	モニタリングでの支援状況や危険因子等でのユニット会議にて振り返り情報を共有し、本人の状態に応じて支援内容の見直しをおこなっております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	シニアボランティアの受け入れを行っております。 さらに今年度より、生活支援相談員の受入再開も行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近場ですが、一之宮八幡大神に参拝や行事の参加など、安全面を配慮した可能な限りでの地域資源の参加を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に通院でなければ、全て、訪問医師・看護師往診時や電話にて報告しています。 通院は、必要に応じスタッフが行う事も有ります。	・内科医と歯科医の訪問診療が月2回あり、看護師は週1回の訪問となっている。 ・利用者の通院支援は原則家族となっている。家族は通院報告書に記入し、診療結果の報告をしている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護師が来園、体調管理を行い、急変時は相談が24時間取れるように連携を図っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院さきにて、病院の相談員・医師との面談や電話での相談等で、早期に退院できるようにしております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族へ、入居時の契約にて説明行っています。 看取り開始時には再度説明と同意書を取っております。 また、本人支援といたしまして、必要な福祉用具などの導入し、支援に取り組んでおります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化や終末期の対応については、入所時に事業所方針を家族、利用者に説明し同意書をもらっている。</li> <li>・看取りについての職員への研修は、訪問看護師が現場でOJTを行なっている。</li> </ul>	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応については、利用者の既往歴・服薬情報が直ぐに伝えられるよう、緊急時持ち出しのファイルを用意して対応しております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会と災害時の協力体制の協定を結んでおります。 また、町内の自治防災訓練にも参加いたしました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は夜間想定を含め年2回実施している。</li> <li>・自治会と「災害時の相互協力体制」の覚書を締結し、事業所玄関に掲示している。</li> <li>・災害備蓄品は、水・食料等を台所・事務所に保管し、リスト化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害備蓄品はリスト化して保管されていますが、BCPマニュアルに沿って、員数や賞味期限等の定期的な管理を行うことが期待されます。</li> </ul>

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの希望・意向を考えを尊重し、声掛け対応を工夫しています。	・新採用職員には入社時に接遇研修を行っている。 ・利用者のプライバシー確保のため、排泄や入浴の介助の際の声掛けに大声や強制的な声掛けをしないよう、配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活リハビリにおいて、出来る事、出来ない事等をスタッフと一緒に行う事で、達成感が得られ、自己決定が出来るように声掛けを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務プログラムは、利用者の方の生活行う為に必要で、スタッフ側の動きやすい為に有るものではないと、会議・申し送りにて行い、個人のペースに合わせた支援が行えるように支援を行います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の自己決定出来るように、個人の嗜好を把握し、清潔保持を保ちながら支援を行っています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	役割が出来、利用者の方がスタッフ支援の下で片付けを行っています。一人ひとりの嗜好を把握し支援を行っています。	・業者の献立による食事を湯煎提供している。誕生会に寿司を出したり、行事レクでホットケーキや焼きそば作りを行なって、利用者の食への希望を満たしている。 ・本年5月より、家族と同伴での外食を許可している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食食事前に、口腔体操を行い、唾液の分泌を多くしています。食事量、水分量の情報共有を主治医ともしており、必要に応じての食形態を変更しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食食事前に、口腔体操を行い、唾液の分泌を多くしています。歯磨きが、見守りを行い、その方に応じ介助行っています。歯科衛生士による口腔内のチェックも行っています。（契約者のみ）		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を確認し個人のリズムを把握し、トイレへ誘導しトイレ内での排泄が出来るように支援を行っています。	・利用者の排泄パターンを把握し、定期的な排泄介助により、失禁が少なくなった事例がある。 ・夜間は2時間ごとに巡視を行ない、利用者の排泄パターンに照らしてパット交換等の介助を行なっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師・医師との連携を図り、相談を行いながら、運動・水分を個人に応じ予防に努めています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴希望は応じ、その方の体調・希望を伺い個々に応じた入浴を支援行っています。	・入浴チェック表で入浴管理し、週2回、午前中に行なっている。 ・入浴介助は、職員が浴室に入ることを原則とし、利用者とは昔話・好きな食べ物等の会話で、くつろいで入浴できるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	意向を確認し生活習慣・その時の状況に合わせた休息や安眠環境に努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全て、医師・看護師・薬剤師との連携にて指導を行って頂き、個人の介護記録へ記載しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活環境を整え、気分転換が直ぐ出来るようにスタッフ間でその日に話し合い、決定し支援行ってます。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の意向を確認後スタッフ間で散歩や買い物などの支援を行い、面会時に家族へ報告し本人の希望が叶えられるように努めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナも第5類となり、一之宮八幡の初詣、寒川神社の桜見物等ドライブレクを行った。</li> <li>・シルバーボランティアによるウッドデッキの花壇の整備の際に、外気浴を兼ねて利用者も一緒に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の体力維持のため食事前の体操、リビング内での歩行訓練等が行われていますが、今後とも継続されることを期待します。</li> </ul>
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は概ね、ホームで行ってまず。買い物など、必要に応じて支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事前にご家族に確認はしておりますが、利用者の希望に添えるように、要望があった時に連絡を行っております。 毎月の家族だよりに、本人のメッセージを載せる事もあります。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロア内は、光の調節を行い落ち着いて生活出来るように環境を整えて支援行っています。居室内の持ち込みも規定がありますが、馴染みの物を持参し居心地良く過せるように工夫行っています。	・リビング等の共用空間の清掃・換気・消毒はコロナ期の体制を継続している。 ・職員と一緒に切り絵を作成したり、職員の実家から持参した梅でジュースを作る等、季節感を味わっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に思い思い過せる事が出来るように利用者の意向を尊重しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物を規定内にて持参し、今までの生活環境の変化が無いように、家族の方に協力をお願いしています。	・事業所備え付けのエアコン・防炎カーテン・クローゼットがあり、TV・植木鉢の花・仏壇等を利用者が持ち込んで自分らしい居室造りを行なっている。 ・居室担当の職員が部屋の整理・整頓を行なっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立に向けた生活が出来るように、日々、問題があれば、直ぐに話し合い対策を立てています。 また、居室内や掲示物に直近の行事や外出写真などを掲示をしており、個人個人が出来る事などを把握しやすく支援しております。		

事業所名	寒川かえで園
ユニット名	いちょう

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関や事務所等に掲示をしているが、内容を記憶している職員は少数となっております。地域活動への参加や積極的な挨拶などの取り組みを実践しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルス感染予防としまして、ゴミ出し等は職員で行っていません。日常的に交流が出来てませんが、地域清掃や地域の衛生員等は参加しております。本年度は東一之宮自治会の東6-3班長として活動をしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会活動の一環として、立ち話の中での助言にとどまりますが、相談を受けたことがあります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナウイルス感染予防としまして、日常的に交流が出来てませんので、なかなか困難かと思えます。運営推進会議外でのお話の中で、面会時の環境について改善を行ったことはございます。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	コロナウイルス感染予防としまして、日常的に交流が出来てませんので、なかなか困難かと思えます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会で、振り返り行い、身体拘束の研修を行っています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束適正化検討委員会ならびに高齢者虐待防止研修会で虐待についても振り返り行い、研修を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年間研修を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には読み合わせを行っています。 ご家族様の不明点等が御座いましたら、ご納得いくまで説明行っています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナウイルス感染予防としまして、日常的に交流が出来てませんので、なかなか困難かと思えます。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	コロナウイルス感染予防としまして、日常的に交流が出来てませんので、なかなか困難かと思えます。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	環境改善会議を行い、職場環境の見直しを行っております。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間研修があり、新人のスタッフの研修時には、出来る限り同一の講師スタッフが付き、トレーニングしております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	コロナウイルス感染予防としまして、日常的に交流が出来てませんので、なかなか困難かと思えます。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前には本人情報の共有、サマリーなどからの本人の要望を読み取れる範囲をショートミーティングで話し合い、入居後には朝の申し送り等で、念入りに申し送りを行い、情報共有をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に要望等を伺い、1ヶ月は困っている事は何か？出来る事は何か？情報を共有し、より良い介護の提供に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	朝の申し送り等で、気づいた点等を情報共有しています。その後当日に現場スタッフと話し合う事もあります。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事、出来ない事だけでなく、やりたい事等を情報共有して、ご本人のペースで生活が出来るように支援しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お小遣い持参時等、最近の様子等を報告し、電話等でご家族様との交流が出来るように支援しています。また、オンラインでの面会も実施しております。 また、		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や電話連絡等を受け入れており、関係が途切れない様に支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	コロナウイルス感染予防も配慮しつつ、レクリエーションや外出等、利用者同士で関係を築けるよう、スタッフも支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年間の挨拶状などを定期的に郵送しています。退去され、ご連絡ある時は懇切丁寧に対応しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の希望により共用スペース等でくつろがれる際には、感染予防といたしまして、マスクの着用や、換気を行う等に対応しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や馴染みの暮らし方を、アセスメントしサービスに反映出来るように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活リハビリの中で、出来る事出来ない事を把握を行い、スタッフがその方に合った支援をすることで、達成感が得る事が出来るように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	出来る事、出来ない事を情報共有して、ご本人のペースで生活が出来るように支援しています。申し送り等、危険因子等で現状を把握して対応してます。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	モニタリングでの支援状況や危険因子等でのユニット会議にて振り返り情報を共有し、本人の状態に応じて支援内容の見直しをおこなっております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	シニアボランティアの受け入れを行っております。 さらに今年度より、生活支援相談員の受入再開も行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近場ですが、一之宮八幡大神に参拝や行事の参加など、安全面を配慮した可能な限りでの地域資源の参加を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に通院でなければ、全て、訪問医師・看護師往診時や電話にて報告しています。 通院は、必要に応じスタッフが行う事も有ります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護師が来園、体調管理を行い、急変時は相談が24時間取れるように連携を図っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院さきにて、病院の相談員・医師との面談や電話での相談等で、早期に退院できるようにしております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族へ、入居時の契約にて説明行っています。 看取り開始時には再度説明と同意書を取っております。 また、本人支援といたしまして、必要な福祉用具などの導入し、支援に取り組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応については、利用者の既往歴・服薬情報が直ぐに伝えられるよう、緊急時持ち出しのファイルを用意して対応しております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会と災害時の協力体制の協定を結んでおります。 また、町内の自治防災訓練にも参加いたしました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの希望・意向を考えを尊重し、声掛け対応を工夫しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活リハビリにおいて、出来る事、出来ない事等をスタッフと一緒にやる事で、達成感が得られ、自己決定が出来るように声掛けを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務プログラムは、利用者の方の生活行う為に必要で、スタッフ側の動きやすい為に有るものではないと、会議・申し送りにて行い、個人のペースに合わせた支援が行えるように支援を行います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の自己決定出来るように、個人の嗜好を把握し、清潔保持を保ちながら支援を行っています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	役割が出来、利用者の方がスタッフ支援の下で片付けを行っています。一人ひとりの嗜好を把握し支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食食事前に、口腔体操を行い、唾液の分泌を多くしています。食事量、水分量の情報共有を主治医ともしており、必要に応じての食形態を変更しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食食事前に、口腔体操を行い、唾液の分泌を多くしています。歯磨きが、見守りを行い、その方に応じ介助行っています。歯科衛生士による口腔内のチェックも行っています。（契約者のみ）		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を確認し個人のリズムを把握し、トイレへ誘導しトイレ内での排泄が出来るように支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師・医師との連携を図り、相談を行いながら、運動・水分を個人に応じ予防に努めています。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴希望は応じ、その方の体調・希望を伺い個々に応じた入浴を支援行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	意向を確認し生活習慣・その時の状況に合わせた休息や安眠環境に努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全て、医師・看護師・薬剤師との連携にて指導を行って頂き、個人の介護記録へ記載しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活環境を整え、気分転換が直ぐ出来るようにスタッフ間でその日に話し合い、決定し支援行ってます。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の意向を確認後スタッフ間で散歩や買い物などの支援を行い、面会時に家族へ報告し本人の希望が叶えられるように努めています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は概ね、ホームで行ってまず。買い物など、必要に応じて支援を行っております。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事前にご家族に確認はしておりますが、利用者の希望に添えるように、要望があった時に連絡を行っております。 毎月の家族だよりに、本人のメッセージを載せる事もあります。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロア内は、光の調節を行い落ち着いて生活出来るように環境を整えて支援行っています。居室内の持ち込みも規定がありますが、馴染みの物を持参し居心地良く過せるように工夫行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に思い思い過せる事が出来るように利用者の意向を尊重しています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物を規定内にて持参し、今までとの生活環境の変化が無いように、家族の方に協力をお願いしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立に向けた生活が出来るように、日々、問題があれば、直ぐに話し合い対策を立てています。 また、居室内や掲示物に直近の行事や外出写真などを掲示をしており、個人個人が出来る事などを把握しやすく支援しております。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム寒川かえで園

作成日 令和6年5月12日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	16	災害備蓄品の管理に手が届いていない。	BCPマニュアルを基に災害備蓄品の管理を行う。	・BCPチェックリストの備蓄欄に使用期限・消費期限を記載。 計画的に備蓄品の買い替えを行う。	1年
2	2	コロナウイルスにより、地域の行事などの自粛が去年の夏より徐々に再開されている。 地域密着型施設として、関わり合いを持ちたい。	一年を通して、地域への行事参加を人員配置に抵触しないよう行事に参加する。	自治会の回覧板での情報収集や、運営推進会議を再開し、民生委員などと交流を持ち、地域行事の日程把握を行う。	1年
3	49	入居者の体力維持が必要である。	現在行っている食事前の体操、リビング内での歩行訓練等を継続する。	食事前の体操、リビング内での歩行訓練等を毎日行う。	継続
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。